

情報コーナー

鳴門市ドイツ館

「各種お知らせ」

●鳴門市ドイツ館の紹介

鳴門市ドイツ館は、第1次大戦時の板東俘虜収容所を紹介した史料博物館です。約千人のドイツ兵たちの暮らしや地元住民との交流の様子を紹介しています。ベートーヴェンの交響曲「第九」全楽章を日本で初めて演奏したことは有名です。実物大のロボットで再現した「第九シアター」は必見です。

文責 金澤 和子(同館職員)

●ニーダーザクセン・コーナーの紹介

鳴門市ドイツ館は、板東俘虜収容所を顕彰する史料館として発足しました。これをきっかけとして、1974年(昭和49年)に鳴門市は、ドイツ・リューネブルク市と姉妹都市交流を始めました。交流がますます広がる中で、リューネブルク市があるドイツ・ニーダーザクセン州との交流も深く広がってきました。そのため、ニーダーザクセン州に関する特別展示が2005年に当時のヴルフ州首相を迎えて公式に開かれ、ニーダーザクセン州の様々な地方の歴史や見所などが紹介されています。ドイツ館内1階にありますので、無料でご覧になることができます。また、隣のミュージアム・ショップでニーダーザクセン州の名物商品も購入できます。

現在、ニーダーザクセン州政府との協力で展示改装の準備中ですので、改装事業に入る前に機会あればぜひ今のニーダーザクセン・コーナーをご覧になって下さい。

〒779-0225 鳴門市大麻町松字東山田 50-2
☎ 088-669-0099

藍住町歴史館「藍の館」

「阿波藍の文化と歴史」

日本古来の染料として伝統的な阿波藍のすべてを知ることができます。

建物は、天保から明治時代にかけて隆盛をきわめた阿波藍の大豪商である奥村家の藍屋敷を復元したもので県の有形文化財であり、当時の栄華を今に伝えます。

又、藍染め体験もできる訪問授業も行っており、徳島大学等のインターンシップも受け入れており、県内外からも沢山の自由研究等でにぎわっております。

文責 阿部利雄(同館館長)



〒771-1212 板野郡藍住町徳命字前須西 172
☎ 088-692-6317

井川町ふるさと交流センター

「現代三好地方の新聞スクラップブック作製中」

井川町ふるさと交流センターは、1階を民俗資料館とし2階を図書館として活用している。

ここに何か特色のある展示物を作ってみたらとの話があり、考えた末に金の殆どかからないもの、そして手軽に住民に直接情報を提供できるものとして三好地方で起こってきた全ての事象をすぐに理解できるものをまとめたらと思い、新聞の記事を切り抜きスクラップブックの作製を思いついた。

幸いに、昭和32年(1957)から地元新聞を中心にスクラップブックがあり、それを新しく張り直して面目を一新にする作業を本年から始めている。どのくらいの冊数になるのか予測が出来ないが、百冊以上のものになると思われる。今から楽しみである。



現在井川中の歴史スクラップブックの一部
徳島新聞連載 湯浅良幸(編) 阿波の民話(三好郡・市)

この昭和32年から現在までの三好地方の56年間には、県下の農山村地域で起きてきた現象に勝るとも劣らない、社会を根底からくつがえす大きな変化があった。まさに激動の時期といえる。

すなわち、昭和34年からわが国は高度経済成長期に入り全面的に過疎・過密問題が生じてきた。三好地方にも急激な過疎化現象が起こり、多くの人々は出稼ぎに出ていったし、また挙家離村する者もいた。自治体の中には昭和32年以前の人口に比して現在は半分、あるいは3分の1以上に激減している所が殆どである。この減少傾向は現在も続いている。

町村も明治の町村制成立の時15村であったが、昭和の合併で8町村となり平成の合併では2つの自治体となった。これらの身近な現象を一つ一つていねいに理解しやすく記してくれているのが新聞である。これをスクラップブックとして見やすく作り直し、住民の要望に答えるべく提供していきたいと思っている。

文責 大岩義雄(同館職員)

〒779-4802 三好市井川町岡野前 64 ☎ 0883-78-4311

徳島県博物館協議会ニュースNo.42

平成25年4月1日発行
編集・発行者
〒770-8070 徳島市八万町向寺山
徳島県立博物館内 徳島県博物館協議会事務局
TEL. 088-668-3636 FAX. 088-668-7197

徳島県博物館協議会

April 2013
NO. 42
ニュース

情報コーナー

上板町立歴史民俗資料館

「阿波和三盆製造の資料について」

当館では、阿波和三盆製造の資料を常設展示している。

和三盆は、甘蔗を原料とし伝統的な製造法でつくられた砂糖・砂糖菓子の中で、阿波和三盆は、阿讃山脈南麓の扇状地帯に適した作物をつくり、貧困にあえぐ状況を打破しようと、江戸後期(19世紀前半には甘蔗の栽培が定着した)に丸山徳弥によって、その製造法が伝達されたものである。徳島藩では藍に次ぐ重要物産の一つであった。

資料(下の写真)は、搾汁の際に使用したもの(牛引き用の砂糖車)、煮詰め・冷却の際に使用したもの(荒釜、揚げ釜、冷しかめ、澄し桶等)、製造の際に使用したもの(押槽、研槽)を中心に展示している。



阿波和三盆は、上板町周辺の歴史を知る上で重要であるが、それだけでなく現在でも和菓子の原料として使用されていることから、この資料は、日本の食文化を伝える意味でも貴重である。

文責 櫻山 昌史(同館学芸員)

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋 8-1
☎ 088-694-5688

あわぎんホール 阿波木偶資料館

「阿波木偶をのぞいてみよう！」

あわぎんホール5階にある阿波木偶資料館が、平成24年10月18日にリニューアルオープンをしました。

新しくなった資料館の展示は、ストーリー性を持たせて資料を配置する新しい展示となっています。

そのストーリー性のもととなるモチーフは、徳島県が全国に誇る「阿波農村舞台」。さらに、「普段では入ることの難しい楽屋裏から農村舞台へ来場していただく」というコンセプトのもと、展示コーナーが創設されております。また、それぞれの展示スペースでは、様々な演出を施された阿波木偶達(でこたち)が、みなさまにお目にかかるのを楽しみにしています。

文責 中川啓司(同館職員)

〒770-0835 徳島市藍場町 2-14

☎ 088-622-8121

大鳴門橋架橋記念館

「春休みも大鳴門橋架橋記念館エディで楽しもう！」

●春休み期間限定キャンペーン

「大鳴門架橋記念館エディ」と「渦の道」のセット券購入の方に「オリジナルクリアファイル」をプレゼントします。

●春の渦まつり開催中

期間中「オリジナルグッズ」をプレゼントします(渦まつりのチラシ持参の方)。

●「魅惑の渦潮を巡る」ガイドツアー実施

20メートルの巨大渦潮が出来るメカニズムや水中の渦潮の様子などについて、鳴門公園コンシェルジュが鳴門の歴史やここだけのとおきのお話を交えながら楽しくご案内致します。

●ラジコン模型船展示会開催中

徳島ラジコン模型船同好会の協力のもと鳴門海峡を航海している船を中心にラジコン模型船を約15隻展示しています。

文責 林 恵美子(同館職員)

※ 詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.awanavi.jp/article/0001278.html>

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池

☎ 088-687-1330

